

# ICT活用に向けた栽培技術の収集と活用方法の検討

## ■背景とねらい

当管内では、初めてぶどう栽培に取り組む農家が多く、栽培技術の向上が課題である。また、新型コロナウイルス感染対策によって、現地での栽培指導会が思うように開催できない事態にある。

そこで、会員の技術習得のために、基本的な栽培技術等を動画で撮影し、現地指導会時の補助資料として、また、会員が都合のよいときに学習できる資料として提供した。

## ■本年度の取組

### 1 動画データの収集

芽かきや花穂整形、摘粒などの主要作業のほか、わら巻きやせん定作業など、紙の資料では伝えにくいポイントについて動画を撮影した。さらに、作業のスピード感を身につけてもらうため、ベテラン農家の作業も動画に収めた。

### 2 現地指導における動画の活用

5月に開催した幼木管理研修会では、事前に撮影した管理作業の動画をタブレット端末で視聴してもらいながら説明した。経験の浅い農家には、紙資料よりもわかりやすかったと評価が高かった。

### 3 オンラインを用いた農家からの相談対応

開花異常と思われる症状に関する農家からの相談に対応するため、タブレット端末を園地に持ち込み、専門技術員とオンラインで結んで状況把握を行った。症状が共有できるとともに実態把握の精度も高まったことで、支援センターと専技の連携による農家への迅速かつ的確なアドバイスにつながった。

### 4 管理技術の解説資料作成

動画資料では伝えきれない栽培技術については、写真や図を使い、ポイントを絞った資料を作成し、音声による読み上げ解説を加えた。

### 5 SNSを使った動画資料の配信

研修会の開催連絡や気象情報、生育に関する調査結果などに加え、生育が進んでいる農家の協力

を得て管理作業の動画を撮影し、作業が始まるタイミングで、SNSを使って情報提供した。

## ■本年度の成果

収集した管理作業動画を編集し、DVDに保存したものを会員及び関係機関に配布した。

配布にあたっては、会員以外への情報漏えい対策が課題となったため、県内外のセキュリティ対策の情報を集めて対策を講じながら、会員にとって使いやすい方法と使い方のルールも作成して対応した。

このDVDによって、会員は自分の好きな時間に栽培管理技術の事前学習や復習が可能となり、栽培管理技術の定着が期待される。加えて動画配信サイト上での会員限定配信によって、園地でもスマートフォンやタブレットなどのIT機器を使って動画視聴が可能となった。

これまでの紙資料に比べ、動画だから伝えられることが非常に多く、動画資料は栽培技術の向上に便利で有効な手段である。



3月8日の研修会

## ■今後の課題と対応

今後の技術指導において、今回作成した動画マニュアルを活用するとともに、マニュアル作成を通じて気づいた技術指導のノウハウを現地指導会においても活用していく。

また、現地指導会の様子も動画撮影し、現地での通常の指導会に加え、現地参加できない方に向けたリアルタイム配信、いつでもどこでも学習できるアーカイブ配信などの取組も検討する。

(阿南支所：高橋 博久)